



留まり止まる休み場

～目を留め、足を止めハイキング・ラシニング・サイクリング～



コンセプト

ウォーキングやジョギング、サイクリング中に目に留まり、そして足を止め、休むというコンセプト。さまざまな用途や関係性で来ている人が周りの目を気にせず休めることを意識し、またそれが可能である。単に休み、休憩ウォーキング等に戻れるようになることを防ぎ、「次につながる…一歩進みだせる」そんな場所の提案をする。

- ✓ 周りを気にせず休める
- ✓ 「次につながる…一歩進みだせる」場所



パターン

「休む」には3つのパターンに分けられる



滞在目的

水分補給をするため利用

水分補給し難い休憩のために利用

軽い食料、友達との会話に利用

滞在時間

1～5分

5～15分

15～60分

滞在場所

自取返前休型

屋敷の木の休憩型

木のいすを利用



坂道の特徴

メリット

目当たりがよく、景色がよい。

坂に面する屋根をいすにする

- ・遠くの景色、近くを走ったり、歩いたりする様子がみえる
- ・狭い空間の座席数を確保できる

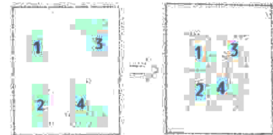
デメリット

雨水がたまりやすく、自然災害のリスクがある

屋根に角度をつけ、地面と接触させる
雨や雪が自然に地面おち、ながれがよくなる



いすの配置



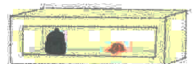
・通常（1人～少数）

席を分け、それぞれにあわせた席の配置にする

・大勢で訪れた際

いすを合わせ、人数にあわせた配置に柔軟替える

リュックや帽子などの荷物を置けるようにいすの面をくりぬく



断面図

坂道の高低差を利用

床は水平にし高低差で生じた部分を嵩上げする

